

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	平和施策事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	企画政策課			
施策	3-6	国際社会への対応		主管課長	須郷 和彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	平和の尊さ・大切さに対する関心と理解が高まる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の平和意識の向上を図るための事業として「平和ポスター展」の開催、市民ボランティアによる「千羽鶴作成」を実施。 平和の大切さを次代に伝えるための事業として「ユニセフ平和教室」の開催、「平和大使」の広島派遣を実施。 			
事業開始から現在までの状況変化	昭和62年に平和都市宣言を行って以来、草の根的な平和施策事業を展開。 平成16年度から市民の平和への想いが込められた折鶴を千羽鶴として東ね、広島平和記念公園に献納。 平成21年度からは平和大使に任命した小学生が直接献納。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	千羽鶴作成のボランティア参加人数	401	384	335	人	→→
②	市民から寄せられた折鶴数	238,000	268,000	245,000	羽	→→	
③	平和教室	2	2	2	回	→→	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	市民における平和に対する関心が高まった。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> 平和ポスター展（7～8月） 1週間×3会場で開催 市民ボランティアによる千羽鶴作成（7月） 1日あたり約19名参加 ユニセフ平和教室（11月） 西初石小、向小金小の2校で開催 平和大使の広島派遣（8月） 公募小学生20名を広島に派遣、千羽鶴献納、平和記念式典参列、記念資料館見学 日本非核宣言自治体協議会（長崎市が事務局）への負担金支出 平和首長会議への加盟 			
--------------------	----------------------	--	--	--	--	--	--

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,790,238	3,537,173	3,473,370
事業費(b)(円)	778,238	791,173	788,570
うち一般財源	778,238	791,173	788,570
職員給与費(c)(円)	3,012,000	2,746,000	2,684,800
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ポスター展示への関心を高める工夫	③取組の課題	異世代、異年齢間での平和への思いの共有
②今年度(H29)に実施した取組	平和ポスター展における展示物の変更	④今後(H30以降)の改善計画	平和大使の派遣を開始してから10年目を迎えることから、平和大使OBを迎え、今年度新たに任命される平和大使との異年齢間交流の機会を設ける。